

学校改築事業の進捗について(平成29年9月現在)

芳水小学校

設計:株佐藤総合計画

設計クラス数:24クラス、特別支援1クラス

- ・平成28年8月 仮設校舎工事完了
 - ・平成28年9月 新校舎建設工事着手
- 現在、既存校舎解体が完了し、杭および基礎工事中。



(校舎建設(I期 校舎)[予定] : 平成28年9月着工、30年12月竣工)
 (II期 プール等)[予定] : 平成31年1月着工、32年3月竣工)
 (外 構[予定] : 平成31年1月着工、32年3月竣工)



後地小学校

設計:株佐藤総合計画

設計クラス数:18クラス、特別支援1クラス

- ・平成29年度 実施設計
- ・平成29年11月～1月 既存プール解体
- ・平成30年2～8月 仮設校舎I期建設
- ・平成30年8月 新校舎建設工事着手
- ・平成30年12～3月 仮設校舎II期建設



(校舎建設[予定] : 平成30年8月着工、32年3月竣工)
 (外 構[予定] : 平成32年4月着工、32年12月竣工)



※詳細は別紙参照

城南小学校

設計:株梓設計

設計クラス数:18クラス、特別支援1クラス

- ・平成29年7月 既存園舎解体工事完了
- ・平成29年8月 実施設計完了
- ・平成29年4～11月 埋蔵文化財発掘調査
- ・平成29年12月 新校舎建設工事着手



<埋蔵文化財発掘調査状況>

改築工事にとまない、新校舎建設部分の発掘調査を実施。

○発掘中の現場見学会を開催

見学内容: 明治45年(大正元年)から昭和32年まで使用された旧校舎の遺構、出土した遺物

- ・平成29年7月15日 住民見学会(来場者数 412名)
- ・平成29年7月18日 児童見学会
- ・平成29年7月20日 園児・保護者見学会
- ・平成29年10月 5・6年生向け授業

○発掘状況

- ・近代～近世の地層を調査中
- ・江戸時代後期の瓦片や陶磁器片、中世以降の供養塔(宝篋印塔)の一部などが出土



(校舎建設[予定] : 平成29年12月着工、32年3月竣工)
 (外 構[予定] : 平成32年3月着工、33年3月竣工)



鮫浜小学校

- ・平成29年5月 設計プロポーザルの公募
- ・平成29年7月 申込み業者8社の内、7社にヒヤリングを実施
- ・平成29年8月 設計業者に株INA新建築研究所を選定
- ・平成29年9月 基本設計に着手

(平成29年度基本設計)(平成30年度実施設計、準備工事)
 (平成31・32・33年度校舎建設工事)(平成33・34年度外構工事)



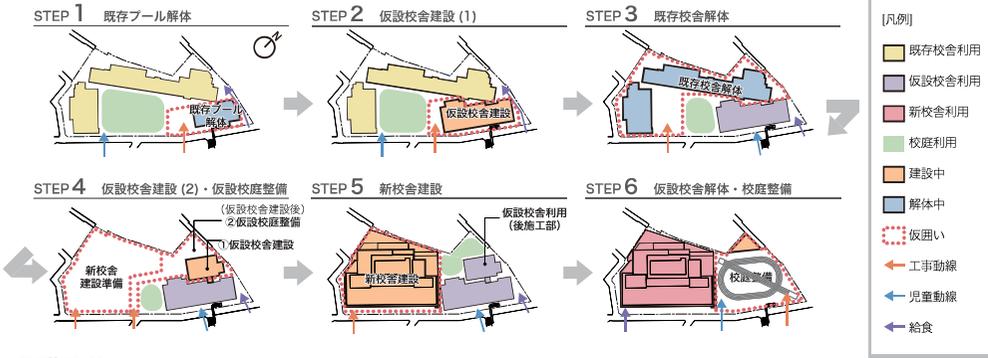


●鳥瞰イメージ図

■計画概要

- 計画地：品川区小山2-4-6
- 敷地面積：5,914.01 m²
- 用途地域：第一種住居地域
- 建築面積：3,086.62 m²
- 防火地域：準防火地域・新防火地域 (校舎棟：2,838.24 m²)
- 日影規制：4時間/2.5時間 (測定面4m) (倉庫棟：124.19 m²)
- 構造：鉄骨造
- 延床面積：7,830.18 m²
- 規模：地上4階 (校舎棟：7,709.93 m²)
- 建物高さ：15.00 m (倉庫棟：120.25 m)

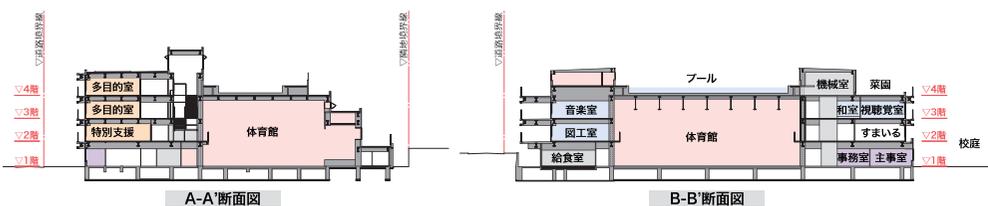
■建替計画



■建替工程表

STEP	平成29年度			平成30年度			平成31年度			平成32年度														
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工事				STEP1	STEP2	STEP3	STEP4			STEP5			STEP6											
				既存プール解体	仮設校舎建設(1)	仮設校舎建設(2)	仮設校舎解体	仮設校庭整備	新校舎建設(15ヵ月見込)	仮設校舎解体	校庭整備(9ヵ月)													

■断面図 (S=1/800)



■コンセプト

密集住宅地のシンボル『街の底：後地ガーデン』づくり

- ・心地よい街のスケール感を継承したコンパクトな校舎として、狭小敷地を有効利用します。
- ・子どもたちや地域が生き生きと活動できる広い校庭をつくりまします。
- ・校舎の外壁セットバックや屋上緑化、敷地周囲の歩道状空地や沿道緑化により、周辺の良好な環境づくりに配慮します。

体育館『後地ひろば』・中央階段『後地ステップ』で

みんなの顔が見える学校づくり

- ・校舎中央に後地ひろばと後地ステップを据え、みんなが会い集まる学校コミュニティの場所とします。
- ・後地ステップは周囲に展示壁やお話コーナーを設けた楽しい交差階段として計画し、こどもの感性が高まる空間をつくりまします。

体験、実感できるエコスクールづくり

- ・中央の吹き抜け空間である後地ステップを活用し、校舎内に自然光・自然通風を取り入れます。
- ・見える化モニターやエコサインを活用することで環境教育を充実させ、地域にも発信します。

子どもたち・地域に安全で安心な学校づくり

- ・正門・校庭に面して管理諸室を配置し、子どもたちの学校生活を見守ります。
- ・体育館と校庭、隣接する防災広場を連携させ、避難所機能の強化を図ります。

■平面図 (S=1/800)

